

宇部市における新たな財源確保への取り組み ～歩道橋ネーミングライツパートナー&道路照明灯スポンサー事業～

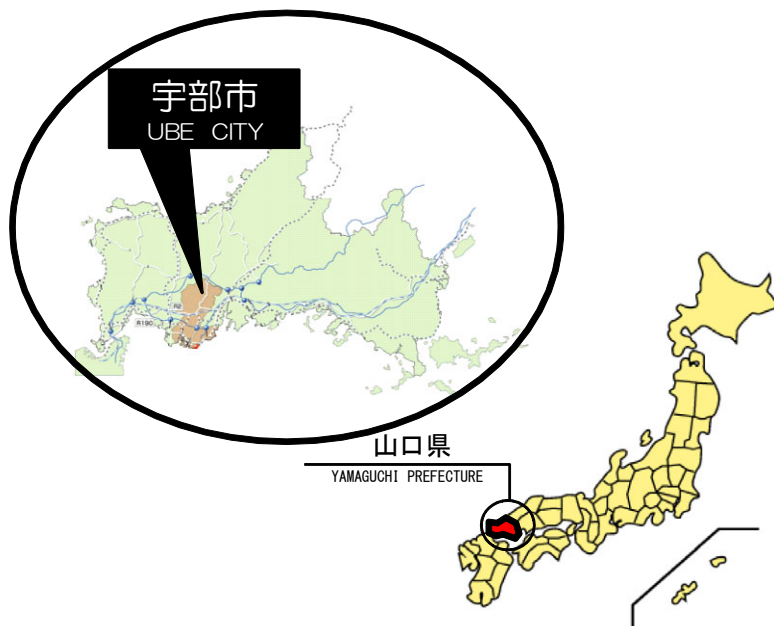
山口県 宇部市 土木建築部 道路河川管理課

1. はじめに

(1) 宇部市の概要

宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、市域として南北に長く、瀬戸内海側に面する南側に市街地を形成しています。

道路網としては、高速道路の山陽自動車道が市の中央部を横断しています。また国道2号が北部地域を横断し、これを補完する形で、国道190号が市街地を通過しており、両国道を結ぶ幹線として国道490号が北に伸びています。海浜部には重要港湾である宇部港と、山口宇部空港が市街地に近い位置にあることから、陸海空それぞれの交通網が整っています。



○ 人口	171,220 人	(平成26年4月1日)
○ 世帯数	78,553 世帯	(平成26年4月1日)
○ 面積	287.71 km ²	(平成25年10月1日)



(2) 宇部市道路管理の現状

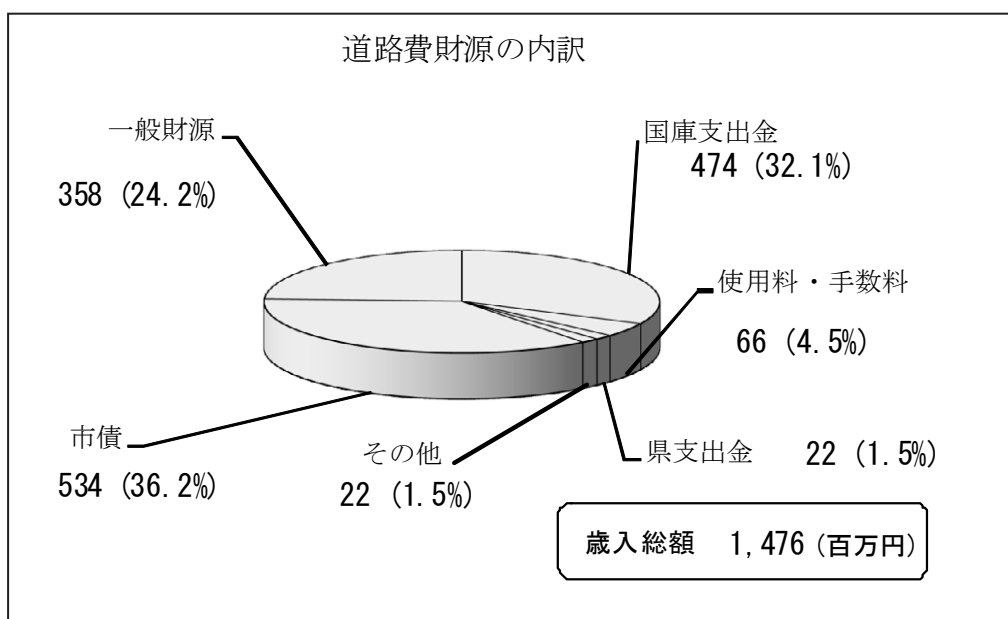
宇部市が管理する道路は 989 路線、総実延長は 707,937 m となっています。舗装率は約 92%、改良率は約 60% となっており、全国の市町村道のそれぞれの平均値約 78%、約 58% と比べ高い値となっています。

高度経済成長期からこれまで多くの道路施設が建設されており、今後老朽化が急速に進行する橋梁や舗装等の施設を、限られた財源で、適正にかつ計画的に維持管理していく必要があります。

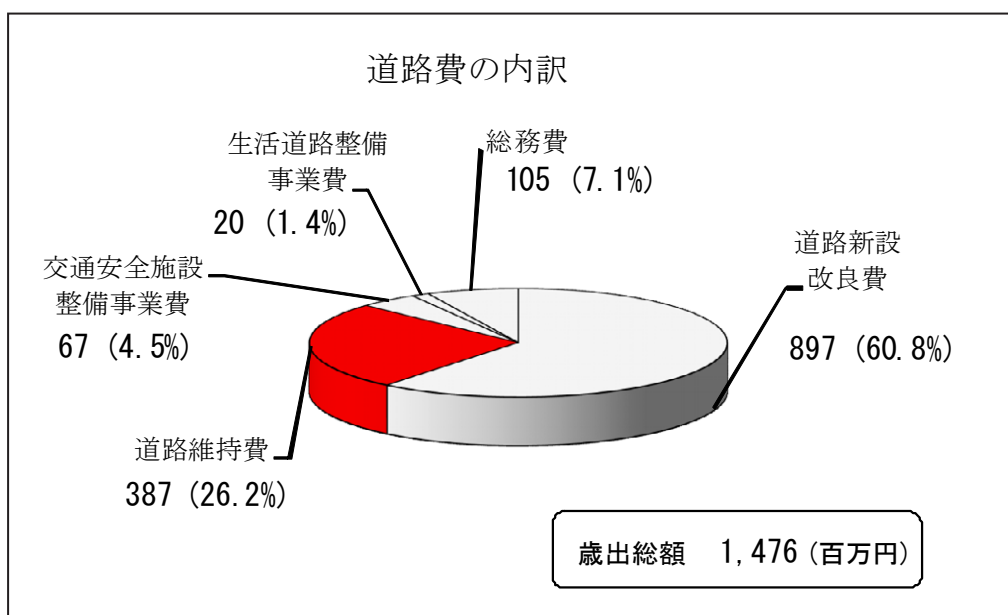
その一方で、道路の維持管理に関する費用については年々減少し、5 年前に比べると約 15% 程度減少しています。

そこで、宇部市では道路施設の維持管理費用を確保するため「歩道橋ネーミングライツパートナー」、「道路照明灯スポンサー事業」に取り組むことにしました。

平成 26 年度 道路費財源 (歳入)



平成 26 年度 道路費財源 (歳出)



2. 歩道橋ネーミングライツパートナーについて

(1) 背景と目的

宇部市が維持管理する歩道橋は現在5橋あり、その全ての歩道橋が鋼製です。鋼製の歩道橋はその構造上、数十年に1度の頻度で塗り替えを行う必要があり、その塗装費用は1橋あたり約700万円程度です。

歩道橋の維持管理については、常に安心・安全な状態で使用できるよう日常点検を行っています。厳しい財政状況の中、塗装の塗り替えなどへの対応が難しい状況となっています。

そこで宇部市では、新たな財源を確保し、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るため、企業、団体や個人に歩道橋の命名者になっていただく歩道橋ネーミングライツパートナーを募集することになりました。

(2) 歩道橋ネーミングライツパートナーの概要

1) 概要

県内初となる歩道橋ネーミングライツパートナーの導入については、愛知県や大阪府などの先進事例を調査し、交通安全や景観上の配慮、パブリックコメント（意見公募）の手続きを経て、歩道橋に導入したものです。

現在は、市内にある浜通り歩道橋に「山口アポロ石油株式会社」との3年契約により「出光山口アポロ石油浜通り歩道橋」の愛称をつけています。

山口アポロ石油株式会社によって命名した浜通り歩道橋



2) 対象

企業、団体や個人（所在地、居住地の制限はありません）

3) 契約期間及び金額

契約期間 契約日から3年間

命名権料 1橋当たり年額24万円(消費税及び地方消費税額を含む)

※別途、契約期間終了時の復旧工事費負担金として当初契約時に10万円が必要です。

4) パートナーの権利

パートナーは、一定の条件のもと、対象となる歩道橋の桁・橋脚部分に企業名、商品名(企業ロゴの使用も可能)等などの愛称を表記することができます。

※愛称表記設置等に係る費用はパートナー側の負担となります。

3. 道路照明灯スポンサー事業について

(1) 背景と目的

宇部市では市内に892灯の道路照明施設があり、その中で近年LED化された照明施設は14灯です。LED照明灯については、ランニングコストの縮減や地球温暖化の抑制を目的とし、既存の水銀灯・ナトリウム灯を一括して転換するイニシャルコストを検討しましたが、老朽化した照明灯を個々にLED化することの方が経済的に得策となります。

道路照明施設については、職員による定期点検の結果により損傷が著しい施設から年次的にLED灯へ更新していますが、今後は施設の老朽化が急速に進行することから、更新費用が更に大きくなることが懸念されます。このことから宇部市では、新たな財源確保、市道の交通安全・防犯の推進や再生可能エネルギーの転換などを目的に、道路照明灯の新設、更新を企業、団体や個人に行っていただき、その後、市が寄贈を受けて維持管理を行うものと、更に電気代等の維持管理費を支援していただく、道路照明灯スポンサー事業を導入しました。

(2) 道路照明灯スポンサーの概要

1) 道路照明灯スポンサーの種類

- ①太陽光発電式LED道路照明灯の新設
- ②既設の水銀灯やナトリウム灯のLED化
- ③電気代等の維持管理費に対する支援
(スポンサー料：年間2万円の3年契約)

2) 対象

企業、団体や個人

3) スポンサーのメリット

スポンサー名入りの表示板を設置することによって、企業の社会貢献をアピールすることができます。

表示例①

この太陽光発電式照明灯は
株式会社〇〇〇の協力により設置されました。
宇部市

表示例②

この道路照明灯は株式会社〇〇〇の協力によりLED化されました。
宇部市

表示例③

この道路照明灯は株式会社〇〇〇の協力により維持されています。
宇部市

(3) 企業により新たに設置された太陽光式道路照明灯
(契約先：宇部興機株式会社)



4. おわりに

今回ご紹介させていただいた「歩道橋ネーミングライツパートナー」、「道路照明灯スポンサー事業」につきましては、道路施設の適正な維持管理のために、新たな財源を確保すること等を目的として取り組んだ制度です。制度の導入にあたり、様々な場に出向き、制度の趣旨を説明する等のPRを行った結果、すでに数多くの問い合わせと契約をいただいております。

これは、これまで「何らかの形で地域に貢献したい」という企業の思いを、具体的な形にできる制度が少なかったなかで、この「歩道橋ネーミングライツパートナー」、「道路照明灯スポンサー事業」がうまく合致したものと考えています。今後は、スポンサーを更に拡充していくことで、安心・安全を確保し、道路施設の良好な維持管理に努めていきたいと思っております。